

特集・タイ法式による得度式

プラ・プッタ・チナラート

龍光寺住職 佐 藤 俊 明

去る四月二日、当寺の四人のご子息の得度式を記念してタイ国ワット・パクナムから身丈一二二センチの金色さん然とした仏像が寄贈された。

この仏像は、「プラ・プッタ・チナラート」と呼ばれる、タイ国の仏像を代表する美しいお姿のものであり、方丈様と私にとつては実にご縁の深い仏像である。

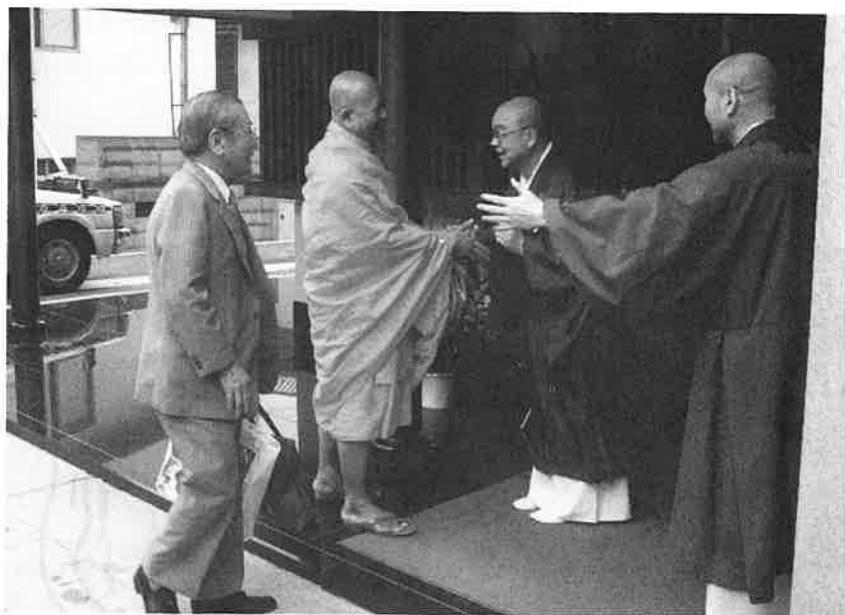
れた。当時私は本山の出版部長だったので出席要請を受け、この座談会の席ではじめて方丈様と出会ったのである。

席上、方丈様は南方上座部仏教（かつては小乘仏教と言っていたが、大乗に対する小乗では蔑視の感があるので上座部と改称された）との交流を提唱され、それがみのつて翌五二年一月、本山では有史以来はじめての試みとして三人の雲水をワット・パクナムに送った。これは大乗持寺の海外布教を考える」という座談会が開か



仏教と上座部仏教の相互理解のために、またあとに続く留学僧の出現を期待するためにも、ぜひとも成功させたいことであり、ひろく世間に訴え、理解と協力を得るべきだと考えたので、

私は二人の出発に際して、生活や修行についての手記を送つてくれるよう依頼した。ところが一ヵ月経つても二ヵ月経つてもなんの音沙汰もない。言葉や気候風土ばかりではなく、同じ仏



教とはいって、あまりにも異質な要素をもつてゐる上座部仏教の中に飛び込んだのだから、そう易々と書けないのは当然、とは思いつつも、健康を害しているのではなかろうか、心の張りを失っているのではあるまいかと案じられた。そこで、「激励と取材にゆきたいが」と話したところ、方丈様は「案内しましよう」と、正に渡りに舟のひと言。

こうして六月、羽田を発つてドン・ムアン空港に着陸することになったわけだが、ムツとする熱気の中に三人の留学僧が出迎えてくれた。すっかり上座部仏教の比丘（出家僧）になり切つている彼らの姿に接した瞬間、杞憂は雲散霧消し、深い感動を覚えた。そして翌日ワット・パクナムを訪れ、今回（当寺に来られた）住職と副住職から、彼らが真面目に修行していること、喜んで後継者を受け入れたいという言葉を聞き、安心するとともに、はるばる足を運んだ



ことの意義を再確認したのだつた。

その際、住職から、「本山に仏像を寄付したい」といわれた。「どのくらいの大きさのものですか」と問うと、身の丈二・三メートルとのこと。そんなに大きいのでは建物のこととも考えねばならぬし、一存で返答しかねたので、一度帰つて貫首禪師の意向を伺つてご返事すると約して別れたのだが、そのとき、私どもは四〇センチ大の仏像をいただいた。これがプラ・プツタ・

チナラートだつた。

仏像を抱いて意氣揚々として空港に来ると、仏像の国外持出しは禁止とのこと。せつかくいただいた仏像、没収されでは心外と、現地同行者にいろいろ奔走してもらつたところ、予想もしない大きな成果があつたのにはおどろいた。

「日本の高僧がありがたい仏像を持つて帰られるのだから、エコノミークラスでは失礼にあたる」とて、ファーストクラスに乗せられて帰

ることができた。

さて、なぜ仏像の国外持出禁止となつたのか。それは、骨董品あさりの日本人が仏像を買い求め、スーツケースの中に下着やバスタオルで仏像を包んでいたのが発覚したためとか。全くもつて心ない話です。

帰つて岩本禪師に報告したところ、せつかくのご好意なのだからいただこうとのことだったのとで、十月、方丈様と同道して留学僧の研鑽の便を図るとともに謝意をあらわすものとして『南伝大藏經』七十余冊を携行して参上、これを贈呈するとともに、仏像奉呈の寄進状をいただいた。

この機会にスコタイの遺跡を見学しようと、バンコクから北へ四〇〇キロほどの所にあるピサンローカに飛んだ。ここからクルマでスコタイにゆくのだが、途中、この街にあるワット・チナラートにお詣りした。プラ・プツタ・チナラートはこの寺の本尊様で、かつてこの地でビ

ルマ軍の侵入を防ぎとめ、タイ国を護つたという靈験あらたかな仏像として有名である。プラ・プツタはブツタ（仏陀）なので、プラ・プツタ・チナラートといえば、チナラート寺の本尊様というところであろう。

一年後に、「仏像が完成したので、仏像寄付者の供養のため、日本僧侶による日本の法要をおこなつてほしい」との連絡があつたので、五四年春、団体を組んで奉迎の旅に出た。こうしてお迎えした仏像が本山宝物殿に安置してあり、タイ国の駐日大使が離着任の際はお詣りに来られる。これと同じ仏像が今回当寺に寄進になつたわけで、思えば本山の場合もそうだがプラ・プツタ・チナラートの奉迎は方丈様のお力によるものであり、靈験あらたかな勝利の仏であれば、当寺の今後一層の発展を見護つてくれるであろうことを信じ、心からお祝い申上げる次第である。



龍神、國王太子化佛
三法寶(釋迦牟尼佛)